

シルバー ながの

第52号
2024.9月発行
SILVER
NAGANO

公益社団法人

長野県シルバー人材センター連合会

〒380-0841 長野市大門町51番地1

TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



半世紀続く室内楽の祭典 第50回木曽音楽祭

今年の夏も、全国から多くのクラシックファンが訪れ、第50回を数える「木曽音楽祭」が開催されました。

木曽音楽祭は、昭和50年（1975年）に、地元のクラシック愛好家の皆さんが、生の音楽を聴く機会に恵まれない木曽に「自分たちで、演奏家を呼んで、演奏してもらおう」と呼びかけ開催されるようになった室内楽の音楽祭です。

地元のボランティアの皆さん主体で始まり、途中で財政的な危機もありましたが、当時の木曽福島町が運営を引き継いだ後も、ボランティアの皆さんの力で現在まで続いています。

第50回を迎えた今年は、毎晩、小規模のオーケストラが演奏されるなど、記念の年を盛り上げる演奏で聴衆を沸かせました。

木曽音楽祭は演奏家の宿泊や食事などボランティアの力で支えられており、演奏家の一週間の滞在中は、季節の食材を使った郷土料理でもてなし、演奏家の皆さんも滞在期間中は合宿のように練習に励みます。プログラムも都会の演奏会では演奏されない、演奏家自身が選曲した珍しい曲目が演奏されるので、滞在中は一層練習に熱が入り、その集大成を聴きに全国各地から多くのクラシックファンが集まります。皆様もぜひ、木曽でなければ聴くことのできない良質なクラシックを聴きにお出かけください。

写真・紹介文提供 木曽町教育委員会

生涯学習課

問い合わせ 0264・23・2070

令和6年度 定時総会開催

令和5年度事業報告及び

収支決算が承認されました

6月10日(月)、長野市のホテルメトロポリタン長野において、令和6年度定時総会が開催されました。

青木副会長の開会のことばに続き登壇した酒井会長は、あいさつの中で、シルバー人材センターの前身である高齢者事業団が東京都に誕生してまもなく50年になろうとしています。高齢者自らが地域の課題を掘り起こし、仕事を行うことで高齢者の社会参加と地域の活性化を図ることを目的として設立されたこの組織は、その後とりまく制度や時代の要請の中で変遷してきたが、その根底に流れる「自主・自立」、「共働・共助」の理念はいささかも変わることなく、今後も受け継がれていくべきものである。



▲ 酒井会長挨拶

社会環境が大きく、そして急激に変化し、シルバー事業の運営も年々難しいか

じ取りを迫られている状況ではあるが、こうした時であればこそ、この「自主・自立」、「共働・共助」の理念を忘れることなく、連合会と県内21センターが共通認識を持ち、連携を強め、また、関係機関の皆様とも連携を図りながら、本年度からスタートした5年間の第4期中期計画に基づき、地域の期待に応えることができる魅力あるシルバー人材センターの実現に向けて着実な歩みをすすめていきたいと話されました。



▲ 労働局加藤部長挨拶

会長あいさつの後、長野労働局加藤大吾職業安定部長、長野県産業労働部長代理の滝沢裕之産業労働部次長兼参事からご祝辞をいただきました。



▲ 長野県滝沢次長挨拶

続いて、議長には、(公社)須高広域シルバー人材センターの根津理事長が選出され、まず令和5年度事業報告及び収支決算について、続いて、令和6年度事業計画・収支予算が報告され、また、任期満了



▲ 根津議長

による役員を選任について熱心に審議をいただき、全会一致で承認されました。席上、長年にわたり拠点センターの理事長また事務局長としてご尽力いただいた各氏に対して連合会表彰が行われ、酒井会長から表彰状が授与されました。

令和6年度 事業計画の主なもの

① 公益法人運営事業

連合会並びに21センターは、公益社団法人として、法人のガバナンス、コンプライアンス体制、情報公開と情報管理体制の整備・充実などが重要であり、あらゆる面において適切で円滑な運営ができるよう、センターの事務・事業をサポートしていく。

② 安全・適正就業推進事業

○ 安全就業

「安全・安心なシルバー事業」はシルバー事業遂行の基幹であり、重篤事故・賠償事故を始め、あらゆる事故の撲滅を目指し、「事故ゼロで地域から信頼されるシルバー」に向け、会員の安全意識の向上、事故防止策の徹底など組織を挙げて安全対策を一層推進する。

○ 適正就業

「適正就業ガイドライン」に沿った業務運営により就業の適正化を推進する。

③ 普及啓発事業

シルバー事業のイメージアップを図り、県民や企業への理解と認識を高め、会員の拡大、就業機会の拡大につながるよう、様々な機会・媒体を通じた効果的な普及啓発活動を推進する。

④ 就業開拓等事業

多様化する会員の就業ニーズや地域ニーズに対応するため、新たな就業分野の開拓をはじめ、高齢者活躍人材確保育成事業等を活用しながら就業機会の創出を進めるセンターの取組を支援する。

⑤ 交流研修事業

センター役職員の資質の向上と相互の情報共有を図り、シルバー事業の活性化及び適正な運営を確保するため、各種研修会等を開催するとともに、全国シルバー人材センター事業協会が実施する研究会等に参加する。

⑥ シルバー派遣事業

高齢者の多様な就業ニーズに対応した就業機会の確保と受託事業の適正な就業を確保するため、各実施事業所との緊密な連携のもと、シルバー派遣事業の円滑な推進を図る。

⑦ 高齢者活躍人材確保育成事業

人手不足分野や現役世代を支える分野で活躍する高齢者就業を推進するため、

広報活動のほか、技能講習、就業体験を実施し、新規会員・発注企業の拡大に取り組む。

センター新任理事長 ・事務局長

新任理事長 7氏

- ・瀧澤 征男氏 (塩尻地域)
- ・森田 等氏 (岡谷下諏訪広域)
- ・有賀 奨氏 (北アルプス広域)
- ・荻原 洋平氏 (飯山地域)
- ・有賀 朝一氏 (安曇野)
- ・下田 秀行氏 (連合会理事・木曾)
- ・熊谷 勝治氏 (阿南広域)



▲ センター新任理事長の皆さん

新任事務局長 3氏

- ・金井 浩一氏 (上田地域)
- ・湯本 登喜一氏 (飯山地域)
- ・赤澤 哲也氏 (安曇野)

連合会表彰受賞者

- ◎連合会役員・センター理事長表彰
- ・小川 恵一氏 (飯山地域前理事長)
- ◎センター理事長表彰
- ・川本 嘉瑞義氏 (北アルプス広域前理事長)
- ・金原 攸氏 (阿南広域前理事長)
- ◎センター事務局長表彰
- ・石井 淳氏 (上田地域前事務局長)
- ・坪井 学氏 (飯山地域前事務局長)
- ・大向 弘明氏 (安曇野前事務局長)



▲ 受賞者の皆さん

安全・適正就業の推進

安全・適正就業対策推進委員会

5月10日、第一回安全・適正就業対策推進委員会をオンライン形式により開催し、本年度の安全・適正就業対策推進年次計画や重点目標について討議し、次のとおり決定しました。

- ・就業現場の巡回・パトロールを県内21センター全てにおいて実施する。
- ・事故防止対策の一環として、具体的な事故事例の情報提供を積極的に行っていく。
- ・安全・適正就業推進大会を10月に開催し、席上安全標語入選者の表彰を行う。

令和6年度の重点目標を

- ①安全ミーティングの完全実施
- ②安全装備使用の徹底
- ③健康診断受診及び健康体操の奨励
- ④交通事故防止
- ⑤安全・適正委員会、推進員による安全対策の点検と徹底による事故防止体制の確立

「事故ゼロで地域から
信頼されるシルバーへ」

全シ協表彰

令和6年6月に開催された全国シルバー人材センター事業協会の令和6年度定時総会において、安全就業優秀・優良シルバー人材センター等の表彰が行われました。長野県関係では、駒ヶ根伊南シルバー人材センターが優秀賞に、また、飯田広域シルバー人材センターが優良賞に選ばれ、長野県としては2年ぶりの受賞となりました。

安全就業優秀・優良センターの選定基準は、過去の実績年数に、優秀が過去5年間、優良は過去3年間との違いはあるものの、概ね

- ①安全委員会を年3回以上開催
- ②安全パトロールは、年4回以上定期的に実施
- ③就業途上事故以外の事故による死亡事故、重篤事故の発生が年間ゼロ
- ④延べ百万時間当たりの労働災害による死傷者数を算出した「度数率」が30以下
- ⑤会員の就業率が県内の平均以上である

ことなどで、これらの項目をクリアしないと連合会が推薦出来ないこととなっています。当該センターの受賞を心からお祝いするとともに、今後も「安全はすべてにおいて優先する」を合言葉に、「事故ゼロ」への取組を継続していきたいと思っております。



安全就業推進研修会を 開催しました

日常作業の危険に対する意識を高めるトレーニング方法として、「事故事例危険予知訓練」を、県内を5ブロックに分けて5月末から6月に開催しました。今回の研修会は、「危険（K）」「予知（Y）」「トレーニング（T）」の頭文字をとって「KYT」（危険予知トレーニング）と呼ばれていますが、連合会の内田安全・適正就業パトロール指導員が講師となり、現場作業での一般的な危険にはどのようなものがあるのかを、1枚のイラストや写真をもとに小グループで話し合い、参加者一人ひとりが自分の発想で、そこに潜む危険性を上げていくトレーニング法です。

秋季には、第2回目の研修会として、交通事故に関する危険予知訓練を予定していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



▲ 安全就業推進研修会



▲ 作業中コーン



▲ 飛石事故防止の安全対策



▲ 石飛を抑えたチップソー



▲ マグネットシートによる作業中表示

安全・適正就業パトロールを 開催しました

安全就業強化月間に合わせて7月から8月にかけて、県内21センターの協力のもと、連合会安全・適正就業対策推進委員会委員が各センターの安全（推進）委員さんとともに、植木選定若しくは機械除草の現場パトロールを行いました。

巡回の中では細部にわたってのチェックがなされましたが、年々暑さが増す厳しい環境の中でも、会員さんが安全装備をしっかり身に着け、事故防止に向け休憩の取り方を工夫するなどの対策をきちんと講じられていることが確認できました。しかしながら、慣れた就業場所での思わぬ事故も報告されており、「あとちよとだけ」の無理は厳禁です。今後とも健康には十分注意して、安全就業の1層の徹底をお願いします。

「あとちよとだけ」
の無理は厳禁です。



令和6年度 高齢者活躍人材確保育成事業 講座開催予定一覧

開催地	説明会・就業体験・技能講習 名称	開催月	日数	受講申込先	
				シルバー人材センター	ハローワーク
技能講習					
松本市	スマートフォン活用術講習	令和7年1月	1	松本地域	松本
大町市	庭木剪定講習	7月～8月	2	北アルプス広域	大町
安曇野市	スマートフォン活用術講習	11月	1	安曇野	松本
大桑村	スマートフォン活用術講習	8月	1	木曾	木曾福島
木祖村	スマートフォン活用術講習	10月	1	木曾	木曾福島
上松町	スマートフォン活用術講習	10月	1	木曾	木曾福島
説明会					
大町市	企業説明会	11月	1	北アルプス広域	大町

開催地	説明会・就業体験・技能講習 名称	開催月	日数	受講申込先	
				シルバー人材センター	ハローワーク
技能講習					
茅野市	庭木剪定講習	6月	3	茅野広域	諏訪
諏訪市	健康食と郷土料理講習	9月	1	諏訪市	諏訪

開催地	説明会・就業体験・技能講習 名称	開催月	日数	受講申込先	
				シルバー人材センター	ハローワーク
技能講習					
飯田市	スマートフォン活用術講習	9月～10月	1	飯田広域	飯田
説明会					
伊那市	シニア世代のライフプラン講座	11月	1	伊那広域	伊那

開催地	説明会・就業体験・技能講習 名称	開催月	日数	受講申込先	
				シルバー人材センター	ハローワーク
技能講習					
長野市	庭木剪定講習	10月	3	長野	長野
須坂市	介護入門基礎講習	10月	3	須高広域	須坂
須坂市	暮らしに役立つお掃除講習	11月	2	須高広域	須坂

開催地	説明会・就業体験・技能講習 名称	開催月	日数	受講申込先	
				シルバー人材センター	ハローワーク
技能講習					
千曲市	植木剪定初心者講習会	7月、9月	2	更埴地域	篠ノ井
千曲市	家事援助講習	7月～10月	4	更埴地域	篠ノ井
佐久市	庭木剪定講習	10月	4	佐久	佐久
上田市	庭木・庭園管理講習	9月	4	上田地域	上田
就業体験					
千曲市	加工用トマト収穫体験	8月～9月	1	更埴地域	篠ノ井
小諸市	刃物研ぎ体験	9月	1	小諸北佐久	佐久
説明会					
上田市	シニア世代のライフプラン講座	11月	1	上田地域	上田

- 参加対象者** 60歳以上で長野県在住のシルバー人材センターに興味をお持ちの方
- 参加費** 無料(会場までの交通費、昼食代等は自己負担)
- 申込み方法** 受講申込先のセンターまたはハローワークにて申込書を手いいただき、必要事項を記入の上申込先窓口にご提出ください。



公益社団法人
松本地域シルバー
人材センター

〒390-0864
松本市宮渕本村1番10号
TEL 0263-39-6680
FAX 0263-39-7788

- ・理事長 青木 敏和
- ・副理事長 櫻井 貞文
- ・専務理事・事務局長 平林 泉
- ・法人設立 昭和58年6月1日
- ・構成市町村 松本市、山形村
- ・会員数 1,528人(令和6年3月末現在)
- ・契約金額 8億1,102万円(令和5年度末実績)

シルバーだより



国宝松本城

センターの概要

松本地域シルバー人材センターは、松本市及び山形村にお住いの方を対象としており、現在1500名余の会員の皆さんが元気に活躍されています。

センターは、松本市の市街地近くの奈良井川に接した場所にあり、松本市が設置した「松本市水防センター」の指定管理者として、同施設内に事務所を置いています。市街地近くでありながら、災害時にはヘリポートにもなる芝生公園が敷地西側に広がり、北アルプスの眺望が素晴らしい広々とした環境にあります。

当センターの対象地域の面積は、県内最大級で1000kmを超えていますので、就業場所の範囲も広く、移動距離もそれなりにです。出来るだけ個々の自宅に近い場所での就業先を探すことが必須です。

そこで重要になるのは、地域ごとの会員の活動をネットワーク化し、いかに就業支援に繋げるか、です。9ブロック37地域からなる地域班活動を始め、梓川地区のりんご園、新村地区のファームにおける野菜栽培、会員手作り品販売などのシヨップ「えがお」の運営など、会員が働きやすい環境づくりに努めています。

さらに、デジタル化も欠かせません。制度改正への対応という面はありますが、以前から、移動のために、時間や体力を

消耗するのではなく、経済的、合理的に社会貢献することを目指し、情報化促進委員会で取り組んできました。シルバー

の在り方が変わるといふより、何を指すのか、日々悩みながら奮闘中です。



大勢の会員が参加した
KYT安全講習



シルバーシヨップ「えがお」



独自事業・門松班



活動の紹介



遊休農地を活用したシルバーりんご園



北アルプスを背景に開催の「ふれあい広場」

公益社団法人
伊那広域シルバー
人材センター



ほたるの名所松尾峡・ほたる童謡公園
(写真：辰野町観光協会)

〒396-0026
伊那市西町4896-1
TEL 0265-76-4680
FAX 0265-76-4693
E-Mail: ina@sjc.ne.jp

- ・理事長 伊藤 次雄
- ・副理事長 向山 輝予史
- ・常務理事・事務局長 竹村 典幸
- ・構成市町村 伊那市、辰野町、箕輪町、南箕輪村
- ・会員数 556人(令和6年3月末現在)
- ・契約金額 3億4,492万円(令和5年度末実績)

シルバーだより



地域の概要

当センターが管轄する伊那市・辰野町・箕輪町・南箕輪村は、長野県の南部に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスという二つのアルプスに抱かれ、その間に諏訪湖を源とする天竜川等が流れ、その流域の河岸段丘に様々な都市や農村が存在しています。観光としては、全国的に有名な「高遠城址公園」、「ほたるの里」として知られる松尾峡、じやらんnetの全国おすすめ紅葉スポットランキング3年連続1位を獲得した「もみじ湖」があり、産業面でも電気・精密・一

般機械などの先端技術産業等が育っています。

当センター管轄の令和6年4月1日現在人口総数約12万2千人、内60歳以上約4万6千人で、令和5年度会員数は556人の広域センターです。

会員拡大の取組み

当センターでは、平成17年707名の会員数をピークに徐々に減少、平成30年に551名、令和5年度は556名と平成30年度に次ぐ低さとなりました。

全会員に対する女性会員の割合も20%台で県内で最も低いことから、令和5年度女性理事を中心にメイクアップ

プ教室を開催、一地区の女性班では、プラネタリウム鑑賞会も開催し好評を得ました。働くこと以外のシルバーの内容も理解していただき、若干ではありますが入会が進みました。このよ

うに地道な取り組みを行い現在22%台と増加してきています。今後とも男女問わず会員拡大の輪を更に広げ事業拡大を図るよう取り組んでいきたいと思っております。

会員作品展



安全バトロール



活動の紹介

奉仕活動ほたる童謡公園



剪定講習会

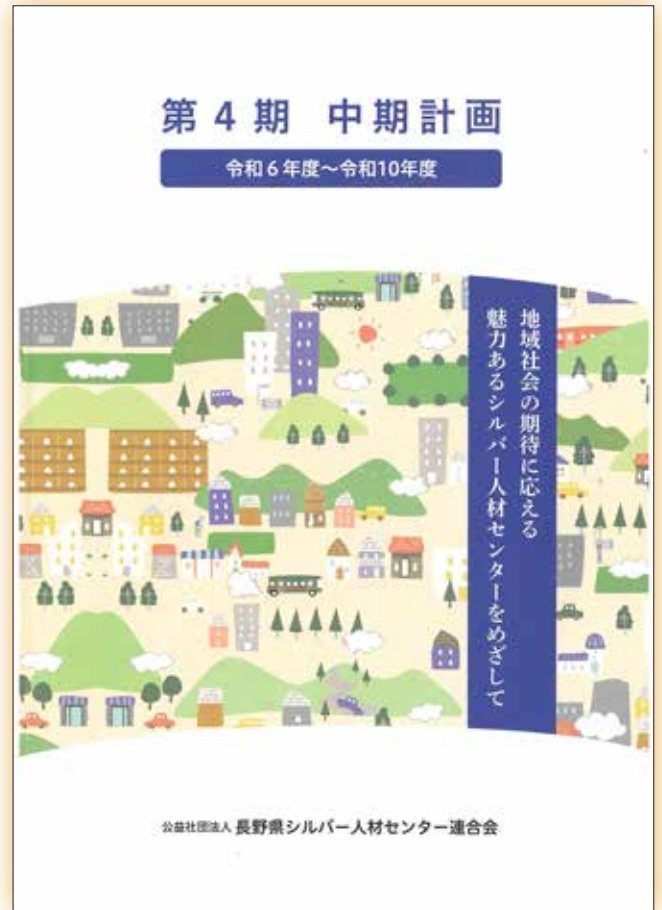


女性会員確保のためのメイクアップ講座



草刈り講習会





第4期 中期計画を策定しました 令和6年度～令和10年度の 5か年計画

● 中期計画策定委員会の開催

第3期中期計画（令和元年度～令和5年度）の満了にあたり、令和5年12月以降、3回の策定委員会を開催しました。委員会では計画策定の基礎調査を行い、第3期計画の達成状況を検証し、新たな基本目標を策定しました。

● 計画策定にあたって

第3期中期計画期間では、令和元年度後半に発生した新型コロナウイルス感染症が、世界規模で社会経済に大きな影響を及ぼし、当連合会においても、会員や事業量の大幅な減少を招き、依然その状

態から脱却できていません。

加えて、企業における70歳までの就業機会確保の進展、インボイス制度の施行、フリーランス法の制定、契約方法の見直しなど新たな制度に伴いシルバー事業をとりにくく環境も大きく変化しています。

コロナ禍により落ち込んだシルバー事業の回復、新たな諸制度への適確な対応など課題は大きなものがありますが、今後5年間の新たな指針となるこの計画に基づき、県内21シルバー人材センターと当連合会が連携し、シルバー事業の発展、地域社会への貢献に努めて参ります。

● 基本目標の設定

連合会とセンターが共通認識を持ち、連携して事業を推進するため基本目標として、計画期間中に達成すべき数値目標

を設定しました。

目標項目は、会員拡大、就業機会拡大の取組み成果を表す指標として、センターの事業実績を集積した会員数、受注件数、契約金額、就業率としました。

目票数値

目標項目	令和4年度 (令和5年度見込)	令和10年度 目標	備 考
会員数 (人)	15,999 (15,700)	16,500	年1%増加
受注件数 (件)	95,139 (92,300)	92,660	請負・委任現状維持 派遣年5%増加
契約金額 (百万円)	8,881 (8,958)	9,361	請負・委任現状維持 派遣年5%増加
就業率 (%)	89.4	91.9	各年度0.5ポイント増加

各年度の目票

目標項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
会員数 (人)	15,850	16,000	16,200	16,350	16,500
受注件数 (件)	92,370	92,440	92,510	92,580	92,660
契約金額 (百万円)	9,031	9,107	9,188	9,272	9,361
就業率 (%)	89.9	90.4	90.9	91.4	91.9

基本目標達成のための事業展開

- 1 会員の拡大
- 2 就業機会の拡大
- 3 安全・適正就業の推進
- 4 事業運営基盤の強化
- 5 連合会の役割と取組
- ① 会員の拡大
- ② 就業機会の拡大
- ③ 安全・適正就業の推進
- ④ 労働者派遣事業
・職業紹介事業の推進
- ⑤ 受託事業の実施
- ⑥ 普及啓発事業の推進
- ⑦ 調査研究と情報の提供
- ⑧ 研修・指導相談の実施
- ⑨ 行政・関係機関との連携
- ⑩ センター未設置地域の解消
- ⑪ 事業運営基盤の強化

編集後記

昨年度からやつと落ち着きを見せてきた新型コロナウイルス感染症。今年の定時総会終了後には、5年振りに交流会が開催され、各種行事・活動も平常に戻ってきたなあと感じていましたが、本記事作成時、ニュースでは全国で新型コロナウイルス感染者が12週連続で増加していること。

ワクチンを接種する人が減り、重症化リスクが高い高齢者も少なくなない。まだまだ暑い時期ですが、体調を整えたり、換気をしたりして、感染対策に気を付けていきたい。